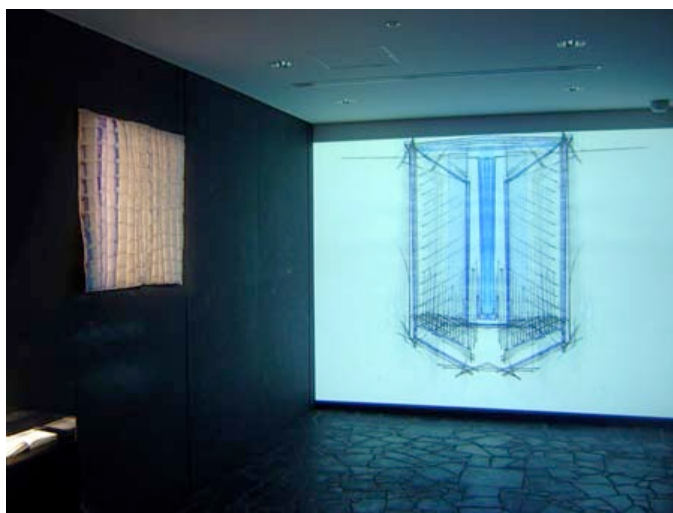


山口情報芸術センターpresents
2007年7月プレスリリース

ダンス公演「混舞 DANCE MIX」関連展示作品

Alessio Silvestrin/アレッシオ・シルベストリン
「Mikrokosmos」 「Andante」



Mikrokosmos

この度山口情報芸術センターでは、7月21日(土)、22日(日)に開催したダンス公演「混舞 DANCE MIX」関連展示作品として、振付家Alessio Silvestrin (アレッシオ・シルベストリン) 氏の「Mikrokosmos」(ミクロコスモス)および「Andante」(アンダンテ)を展示いたします。

「Mikrokosmos」および「Andante」は、ハンガリーの作曲家、ベラ・バルトークの音楽をもとに制作された舞台作品から生まれた、ドローイング、ビデオ、パッチワークによる一連の作品です。ひとつの楽譜から様々な展開するこれらの作品では、ダンス作品からパッチワークまで多彩に変容する作家の制作プロセスを見ることができます。

ダンス公演「混舞 DANCE MIX」関連展示作品

Alessio Silvestrin/アレッシオ・シルベストリン
「Mikrokosmos」 「Andante」

会期：2007年7月13日(金)～9月3日(月) 10:00～20:00 ※火曜休館
会場：山口情報芸術センター 1F、2F公園側エレベーターホール前 入場無料
主催：財団法人山口市文化振興財団
企画：山口情報芸術センター

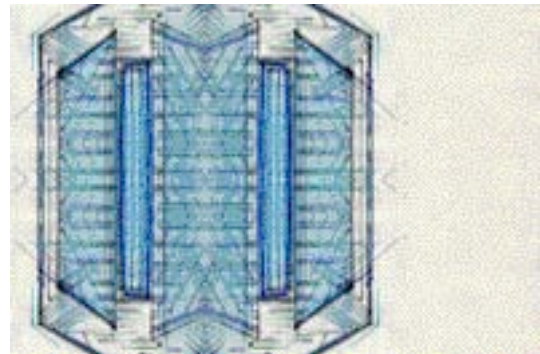
□作品概要

「Mikrokosmos」

音楽：ベラ・バルトーク

ビデオ（25分）、ドローイング、パッチワーク

(1F 公園側エレベーターホール前)



ハンガリーの作曲家、ベラ・バルトークのピアノ練習曲「Mikrokosmos」の第一巻の楽譜をもと

に、生まれた作品。アレッシオ本人による「扉」のスケッチから、ビデオ作品やパッチワーク作品、ダンス作品(※1)へと展開されました。

ビデオ作品では、ピアノ曲が進むにつれて、扉の形が抽象的で複雑なものへと徐々に変化していきます。パッチワークではその変化する段階を、順を追って見せています。またこれらの映像のいくつかは、ダンス作品(※1)の舞台背景としても使われました。

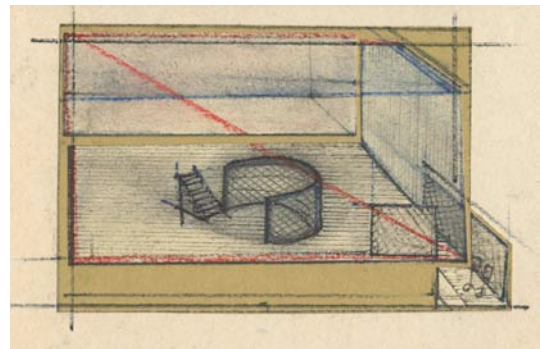
ここで紹介された作品は、自身が演出・振付・映像・美術を担当したベラ・バルトークの一幕オペラ「青ひげ公の城」をもとにしたパフォーマンス「青ひげ公の扉」(※2)から生まれたものです。

「Andante」

音楽：ベラ・バルトーク

ビデオ（3分）、ドローイング、パッチワーク

(2F 公園側エレベーターホール前)



パフォーマンス「青ひげ公の扉」(※2)の舞台デザインのスケッチから生まれた、ドローイングとパ

ッチワーク、映像作品。パフォーマンス作品の制作プロセスをさまざまな形で、独立したアートとして展示しています。

ビデオ作品では、ベラ・バルトークのピアノ曲「Andante」を使用。ダンス作品「戸外にて Outdoors」(※3)にも登場しました。

※1, 2007年7月21日(土) 22日(日)、山口情報芸術センターダンス公演「混舞 DANCE MIX」で上演。

※2, 2005年、愛知芸術文化センター「ダンスオペラ2」で上演。

※3, 2004年9月、愛知芸術文化センターで上演。

このようにアレッシオ・シルベストリンの作品は、一つのスコアから次々と形を変えて展開していく特徴があります。振付家、ダンサーといった肩書きにとらわれず、様々な表現方法を持った、多彩な才能を持つアーティストとして作品を発表しています。

□ARTIST PROFILE

Alessio Silvestrin / アレッシオ・シルベストリン

1973年、イタリア生まれ。

モンテカルロ市グレース王妃ダンスクラシック・アカデミーを卒業後、スイス・ローザンヌのルードラ・ベジャール学校にて学ぶ。その後、ベジャール・バレエ・ローザンヌ、リヨンオペラ座バレエ団にてダンサーおよび振付家として活躍。1999年からウィリアム・フォーサイス率いるフランクフルトバレエ団に所属。2003年より日本を拠点にフリーランスアーティストとして活動を開始。国際的ダンスフェスティバル等、多数参加。能楽師・津村禮次郎との共演やNoism05「Triple Bill」での委託作品発表、ビデオ作品制作、作曲活動など活動は多岐に渡る。



PHOTO.中島 剛

<http://www.alessiosilvestrin.com/>

2003年9月より日本を拠点にフリーランスアーティストとして活動開始。

2004年 Dance and Media Japan、ICC(東京)、青山ダンスビエンナーレ(東京)にて作品を発表。

2004年9月 「戸外にて Outdoors」(愛知芸術文化センター委嘱作品/愛知芸術文化センター)

2005年2月 ダンスオペラ「青ひげ城の扉」演出・振付・映像・美術・出演(愛知芸術文化センター)

2005年6月 「Ritrovare/Derivare」共演：津村禮次郎(能楽師)

(イタリア・ヴェネチア・ダンスビエンナーレ)

2005年7月 「DOOR INDOOR」

(Noism05「Triple Bill」委嘱作品/りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 他)

2005年9月 「noon afternoon」

(マイケル・シューマッハと共同制作/新国立劇場委嘱作品)

そのほか、2006年には、7月 Seongnam Dance Festival(韓国)、10月 韓国ダンスビエンナーレにも招聘。振付作品の他、ビデオ作品『Map』を製作。また同年、アメリカ・ロサンジェルス Dance Camera West Film Festivalや、オランダ・アムステルダム Cinedance Film Festivalでも作品を発表。

<お問い合わせ>

山口情報芸術センター(広報：小滝)

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216

information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>